

### 松橋中・小川中の生徒が全国大会出場の結果を報告に表敬訪問 全国の舞台で得た経験を糧に

9/18 この夏行われた全国大会に出場した中学生が、守田憲史市長らを表敬訪問しました。訪れたのは松橋中の陸上競技部1人、柔道部1人、男子ハンド部15人と小川中の弓道部8人。各学校から出場の経緯や結果についての報告がされた後、生徒一人一人が全国大会に参加した感想を話しました。小川中弓道部3年の徳永龍哉さんは「個人戦では準優勝となったが、団体戦で予選敗退し悔しかった。来年は高校生になるが、高校でも弓道を続けたい」と意気込みを語りました。



第47回全国中学校ハンドボール大会出場 松橋中ハンドボール部



第45回全日本中学校陸上競技選手権大会 1500m 出場  
松橋中陸上競技部 中村早希さん(左)  
第49回全国中学校柔道大会 個人44kg 級出場  
松橋中柔道部 緒方千弥さん(右)



第15回全国中学生弓道大会 JOC ジュニアオリンピック  
クカップ大会出場 小川中弓道部  
男子団体出場(小川A、小川B)、  
男子個人出場(徳永龍哉さん 準優勝・技能優秀賞受賞)

### 昭和女子大学東洋史ゼミ 東洋史の中の三角西港を学ぶ



龍驤館で西港の歴史を学ぶ

9/20 天草・三角地方への見識を深めようと昭和女子大学(東京都)の東洋史ゼミ生8人と県出身の牧野元紀准教授が三角西港を訪れました。一行は、三角西港の石積みを施工した小山秀や、浦島屋を舞台にした紀行文「夏の日の夢」を書いた小泉八雲など、ゆかりのある人物について学習してきたこともあり、三角西港観光ガイド齊藤万芳さんの説明を熱心に聞き入っていました。牧野准教授は「皆、初来訪だったが三角西港に関心を持ってくれた。今後は若い感性を生かして、情報発信などで連携することができたら」と話していました。

詳しい内容は、市ホームページで読むことができます。



### 民泊などの宿泊事業に関する説明会開催 すでにある地域資源を活用しよう

9/15 小川町「風の館塩屋」で民泊など宿泊事業に関する説明会が開催されました。説明会では内閣官房シェアリングエコノミー伝道師の積田有平さんから「シェアリングエコノミー(共有経済)は、場所、車、モノ、技術など個人がすでに持っているものを使って、それを利用したい人にサービスを提供するもの」などと説明がありました。事例として、空き部屋を使った1時間単位のレンタルサービスが紹介され、参加者からは「地元で実践する推進役としてはどのような人が考えられるか」など、熱心に質問や意見が上がっていました。



シェアリングエコノミーについて真剣に学ぶ参加者

### 第9回「豊川まつり」 手作りの温かいお祭りで地域の絆を深めて



「炭酸きつ〜い！」サイダー早飲み競争

9/16 住民手作りの催し「豊川まつり」が豊川神社境内で開かれました。地域の絆を深め、子どもたちの思い出に残るような祭りにしようと同実行委員会(尾崎裕二委員長)が主催したものです。ステージでは、地元団体の演奏や子どもダンスなどが披露され、皆で松橋音頭を踊るなど会場は和気あいあいとした雰囲気になっていました。また、今年はサプライズゲストのくまモンも登場し、会場を沸かせていました。尾崎委員長は「地域のつながりを大切に、毎年楽しみにしてもらえよう祭りにしていきたい」と話しました。

### 100歳の長寿をお祝い訪問 百寿おめでとうございます

9/18・19 9月の敬老月間に合わせて、今年度100歳を迎える人たちを祝福しようと、守田憲史市長が市内に住む対象者を訪ね、長寿を祝いました。今年度の対象者は、大正7・8年に生まれた人で合計22人。守田市長は、2日かけて市内を巡回し、対象者に安倍晋三総理大臣からの表彰状などを手渡しました。

19日には、小川町の前崎キクエさんを訪問。守田市長は「市民を代表してお祝いします。世界最高齢を目指して、これからも元気にお過ごしください」などと笑顔で声を掛けました。



長寿を祝いに訪れた守田市長と前崎さん

### 三角小で「いきいき芸術体験教室」 音楽の力を感じた日



「もののけ姫」の曲に合わせ、全員で演奏

9/27 三角小で「いきいき芸術体験教室」が開催されました。これは、生の舞台芸術に接することで豊かな創造性や情操を育むことを目的に、県教育委員会が毎年実施しているもの。全校児童に加え、みすみ保育園とわかき保育園の園児たちや地域住民など約200人が参加しました。

この日は、阿蘇を拠点に活動する「Viento」の吉川万里さんと竹口美紀さんが来校。ケーナやオカリナなどを使い、唱歌やオリジナル曲など7曲を演奏しました。児童も参加し、世界各地の民族楽器を使つての演奏に挑戦しました。

### 「宇城市熊日金婚夫婦表彰式」 共に歩んだ50年



代表の5組の夫婦に表彰状と記念品が手渡されました

9/28 ラポートで「宇城市熊日金婚夫婦表彰式」が行われました。市と熊本日日新聞社の主催。今年は昭和43年に結婚した結婚50周年の夫婦が対象で、この日は69組の夫婦が参加しました。主催者あいさつでは、守田憲史市長が「夫婦で50年共に過ごせたことは、人生の幸せ。これからも幸せな人生を送ってほしい」とお祝いの言葉を贈りました。金婚夫婦を代表して、松下倫三さん、絹代さん夫妻＝三角町＝が「周囲の支えがあり50年を迎えることができた。これからも共に健康で暮らしていきたい」と謝辞を述べました。

### 「宇城市プログラミング教室」 チャレンジしながら考える力を身に付けよう



アドバイスを受けながらゲームを改良

9/29 「宇城市プログラミング教室」が小川町のビジネスサポートセンターであり、小学生23人が参加しました。市と崇城大学が初開催。参加者は、子ども向けのプログラミング専用パソコン「IchigoJam」を組み立て、障害物をよけて川を下る「かわくだりゲーム」づくりに挑戦。同大学起業部の学生らのアドバイスを受けながら、はんだづけからゲームの一つ一つの動作を入力するまでの作業を自分で行いました。松田彩那さん(豊福小5年)は「同じ班になった者同士で協力したり、対戦したりして仲良くなれた」と笑顔を見せました。

### 三角町「合同教育懇談会」開催 子どもたちの夢を育む

9/21 宇城市青少年育成三角地区民会議と、三角町の3つの小・中学校のPTAが、青少年を取り巻く現状や課題について地域全体で学ぶ三角町「合同教育懇談会」が三角センターで開かれ、約100人が参加しました。講演では、社会投資家の竹井佑介さんが、「牛深で生まれ、ハワイに移住したおかげで」という演題で、いじめや不登校に対する取り組みについて、実体験を踏まえて、幅広い視点から講話。子どもの教育に対して「何のために生きるのか志を持たせることが大事」との言葉を、参加者は真剣に受け止めていました。



参加者たちは熱心に耳を傾けていました

### 第11回「宇城合唱祭」 歌える喜びを会場いっぱいに

9/22 ラポートで「宇城合唱祭」が開かれました。この合唱祭は、平成19年の市歌制定をきっかけに、宇城合唱連盟(下川 穰 代表)が音楽文化の向上を目指そうと毎年開いているもの。今年は、新規加盟の1団体が加わり、市内で活動する団体を中心に11団体が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。

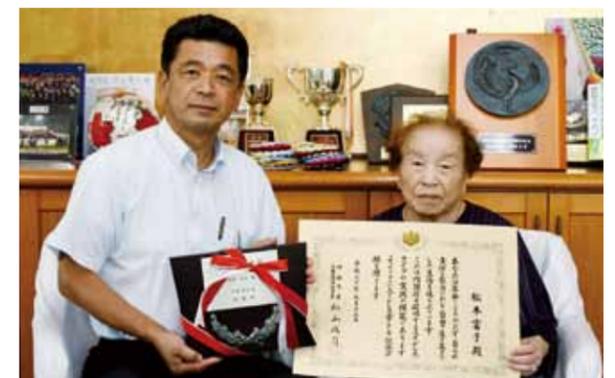
各団体は、童謡や歌謡曲など観客の親しみやすい歌に乗せて、練習で培った伸びやかな歌声を披露。最後は会場一体となって市歌「伸びゆく宇城市」などを大合唱し、感動的なフィナーレを飾りました。



会場いっぱいに美しい歌声が響き渡りました

### 松本富子さんが内閣府の「エイジレス章」を受章 年齢にとらわれず生き生きとした生活を

9/25 生き生きとした生活を送り、地域で積極的に活動する高齢者に贈られる「エイジレス章」を受章した松本富子さん(94)＝不知火町＝が市役所を訪れ、守田憲史市長から書状と楯を受け取りました。今年度は全国で58人、44団体が選ばれ、県内では松本さんが受章。市では初の受章です。松本さんは長年不知火町の婦人会長を務め、約10年前からは、身近な問題などを題材とした福祉劇の代表を務めるなど、地域に貢献。このような活動が受章につながりました。松本さんは「人に喜ばれるのが私の喜び」と笑顔で話しました。



アクリルたわしを編むなど趣味も多い松本さん(右)

### ラスベガスでサッカー大会に出場の岡村汰輝さん・千草朝陽さん 国際舞台で自分へのチャレンジ

10/7 アメリカ・ラスベガスで10月下旬から開催されたサッカーの国際大会に出場の岡村汰輝さん(小川中1年)と千草朝陽さん(松橋中1年)が市長室を訪れました。2人はクラブチームの「エスペランサ熊本」に所属するチームメイト。同大会には世界約20カ国5,000人近くの選手が参加し、2人は日本選抜の一員として出場します。岡村さんは「海外選手に自分の実力が通用するかチャレンジしたい」、千草さんは「自分が得意なのは相手をおかすプレー。海外に行っても通用するプレーをしたい」とそれぞれ意気込みを語りました。



右から鎌江和正統括部長、千草さん、岡村さん

### 発達障がい児者の災害時避難についての検討会 災害を想定した体験を通して、理解を深める

9/30 災害時に一般の避難所での生活が難しい発達障がい児者を一時的に宗教施設で受け入れることについての検討会が、豊野町の光照寺で開かれました。くまもと発達支援親の会「めだか」(前田慶子代表)と復興支援センター「うきのわ」(糸山公照代表)の主催。今年3月に(公財)世界宗教者平和会議日本委員会の女性部会が作成した「災害時に備えて 発達障がい児者受け入れのてびき」に基づき、普段から災害を想定した体験を行うなど、発達障がい児者への理解を深めるための具体的な方法などについて意見が交わされました。



防災グッズの展示や非常食の試食も行われました

### 地域の行事や隠れた魅力などをレポート 広報特派員レポート 宮川 勝 特派員 編

#### 秋風に吹かれ未来を体験しませんか

皆さん、三角東港広場に遊びに来ませんか。セグウェイを体験することができますよ。

9月5日、RKK熊本放送アナウンサーの糸永有希さんも取材でセグウェイを体験していました。糸永さんは「空を飛んでいるようで、映画で見た『E.T』になった気分。とても楽しかった」と話していました。

超小型モビリティ「うきモビ」も、観光には便利な電気自動車。操作上の注意などをよく聞いて乗車し、三角西港や戸馳島を巡ると楽しい時間が過ごせると思います。



シェアサイクルの借り方も放映されました

#### 自宅の庭に“アイドル”

10月2日、戸馳島にある内潟区の入口憲昭さん夫婦の自宅を訪問しました。入口さん宅の庭には、3m×2mの池があり、きれいなニシキゴイがたくさん泳いでいます。

入口さんは、37年前からニシキゴイを飼っていて、小さなうちから世話をしています。

入口さんは「池の水を循環させる作業は大変ですが、朝夕に元気に泳いでいるのを眺めるのが楽しみです」とにこやかに話していました。

私も色鮮やかなニシキゴイを鑑賞し、優雅に泳ぐ姿を楽しむことができました。



手塩に掛け育てているニシキゴイを眺める入口さん

### 「宇城の特産物レンコンを使って料理をしよう!!」 地域の特産で交流を



レンコンハンバーグの具を混ぜる児童

10/2 JA熊本うき松橋町はす部会の生産者とJA熊本うきの職員が松橋東支援学校でレンコン料理教室を開き、同校小学部の児童と調理を通じて交流を深めました。

これは、総合的な学習の時間に、郷土料理を地域の人と協力して作ることで、地域に親しもうと企画されたもの。生産者の野山尚子さん(66)＝松橋町＝ら4人と児童3人は、一緒にレンコンをすりおろしたり、混ぜ合わせたりして豆腐入りレンコンハンバーグや和風スープなど4品を作り、完成後は全員で食卓を囲みました。

### 宇城広域連合消防本部から5人に表彰状 的確な判断と協力で人命救助

10/7 宇城広域連合消防本部の岩本和也消防長が、8月に松橋町で発生した建物火災で、動けなくなっていた住民を迅速に救出したとして、吉塚佳史さん(35)、松本宇太さん(25)、中島寿成さん(25)、井沢汰洋さん(25)＝いずれも松橋町＝、東香奈子さん(25)＝熊本市南区＝の5人に南消防署で表彰状を贈りました。岩本消防長は「皆さんの勇気ある行動で大切な命を救うことができた」と謝辞。吉塚さんは「顔なじみのお客さんの家で、どうにかして助け出したいと必死だった。皆と協力して救助できた」と話していました。



左から、式に出席した松本さん、岩本消防長、吉塚さん